

JSA PIMS2019

管理者マニュアル

— 5. CSV によるデータ登録 —

R.4 2018 年 10 月

公益社団法人 日本麻酔科学会



改版履歴

版数	発行日	変更理由
R. 0	2010 年 12 月	
R. 1	2011 年 12 月	Ver4.0.2 からの新 OS 対応
R. 2	2014 年 12 月	Windows 8, 2012 Server 対応
R. 3	2016 年 12 月	Ver5.0 対応
R. 4	2018 年 10 月	Ver6.0 対応

目次

1 はじめに.....	3
1.1 管理者マニュアルの構成.....	3
1.2 本書の対象者.....	3
1.3 免責事項.....	3
1.4 表記規則.....	3
2 CSV ファイル形式からマスターデータを移行するには.....	4
2.1 マスターデータ移行の制限.....	4
2.2 移行手順.....	5
2.2.1 テンプレートファイルのダウンロード.....	5
2.2.2 マスターデータの一括登録.....	7
2.2.3 マスターデータの一括出力.....	9
2.2.4 科で使用する疾病／術式の注意事項.....	12
3 CSV ファイル形式から症例データを移行するには(汎用的データ移行).....	14
3.1 汎用的データ移行の制限.....	14
3.2 移行手順.....	14
3.2.1 マッピングの登録とデータ移行.....	14
3.2.2 汎用的データ移行の履歴確認.....	17

1 はじめに

本書は、「JSA PIMS2019」（以下本システムといいます）の管理者向けマニュアルのうち、主にデータ移行に係る内容を説明したものです。

1.1 管理者マニュアルの構成

管理者マニュアルは、以下の5編で構成されています。必要に応じた編をご参照ください。

- ・本編
- ・インストール編
- ・運用管理編
- ・データ連携編
- ・CSVによるデータ登録編（本書）

1.2 本書の対象者




本書は本システムの管理者を読者の対象としています。

本システムの管理者は、システムを適切にご使用いただくために、本書に目を通した上で、システムをご使用ください。

1.3 免責事項

システムの不適切な使用に伴う患者情報等の個人情報の漏洩については、本学会は責任を負いません。

1.4 表記規則

規則	意味
「手術管理」 「手術室予約」	メニューの名称を表します。メニューの大項目と小項目の間は、縦線で区切って表します。
[]	大カッコ内は、画面やダイアログボックスに表示される文字、またはキーボードのキーを表します。
< >	山カッコ内は、ユーザが入力する内容を表します。
→	操作したあとの結果を表します。
 注意	ご使用となるうえでの注意事項を表します。
 参照	ほかのマニュアルやヘルプの参照先を表します。
 ヒント	知っておくと便利な情報を表します。

2 CSV ファイル形式からマスターデータを移行するには

ここでは、CSV ファイル形式からマスターデータの移行を行う方法を説明します。

本機能では、以下のマスターデータについて CSV ファイル形式からデータの移行を行うことができます。

- ・ 科
- ・ 病棟
- ・ 手術室
- ・ 職員
- ・ 術前特記事項
- ・ 術中特記事項
- ・ 気道
- ・ 希望麻酔法
- ・ 薬剤
- ・ 器械セット
- ・ 科で使用する疾病
- ・ 科で使用する術式
- ・ 疾病(病院独自)
- ・ 術式(病院独自)

2.1 マスターデータ移行の制限

ここでは、マスターデータ移行の制限事項について説明します。

- 2.1.1(1) マスターデータ移行で利用できるファイルは、CSV ファイル形式です。それ以外のファイル形式を使用することはできません。
- 2.1.1(2) 各マスターデータの種類によってレイアウトが異なります。1つのファイルには、1種類のマスターデータのみ記載することができます。例えば、病棟マスタと手術室マスタのデータを同じファイルに保存して、マスターデータ移行することはできません。
- 2.1.1(3) 本機能では、複数データを一括して登録／更新することができますが、削除することはできません。登録済みのマスターデータを削除する場合は、本システムの画面上から操作する必要があります。
- 2.1.1(4) あるマスターデータを登録／更新する際に、関連するマスターデータを同時に登録／更新することはできません。例えば、ある職員をマスタに登録する場合、事前に関連する科、病棟マスタをそれぞれ登録しておく必要があります。職員マスタの一括登録ファイルでは、科、病棟マスタを直接、登録／更新することはできません。
- 2.1.1(5) 以下のマスターデータは、本機能から登録／更新することはできません。登録／更新が必要な場合は、本システムの画面上から操作を行ってください。

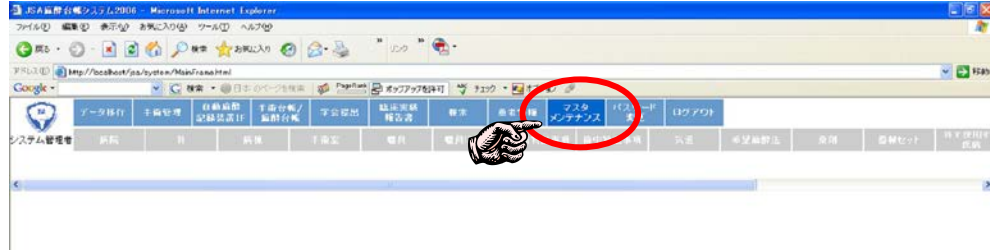
- 術前特記事項 :分類コード、分類名
- 薬剤 :分類コード、分類名

2.2 移行手順

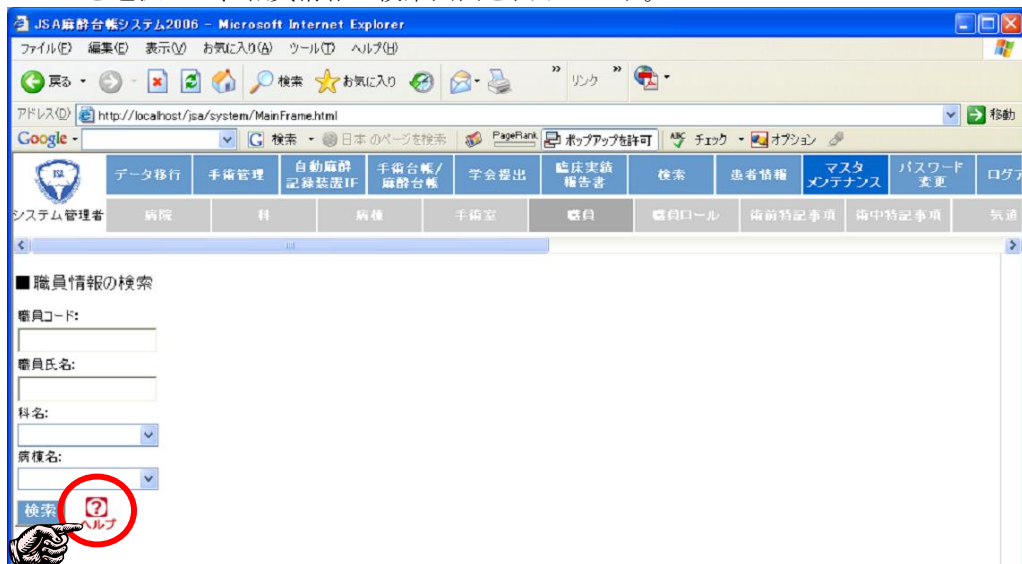
2.2.1 テンプレートファイルのダウンロード

移行するデータを登録するためのファイルを本システム上からダウンロードします。

2.2.1(1) 本システムにシステム管理者権限でログインして、[マスタメンテナンス]を押します。



2.2.1(2) テンプレートファイルをダウンロードするマスタを選択します。ここでは、職員マスタを選択して、職員情報の検索画面を表示します。



※この時、検索ボタンの横にある **ヘルプ** のアイコンを押すとヘルプファイルが表示されます。

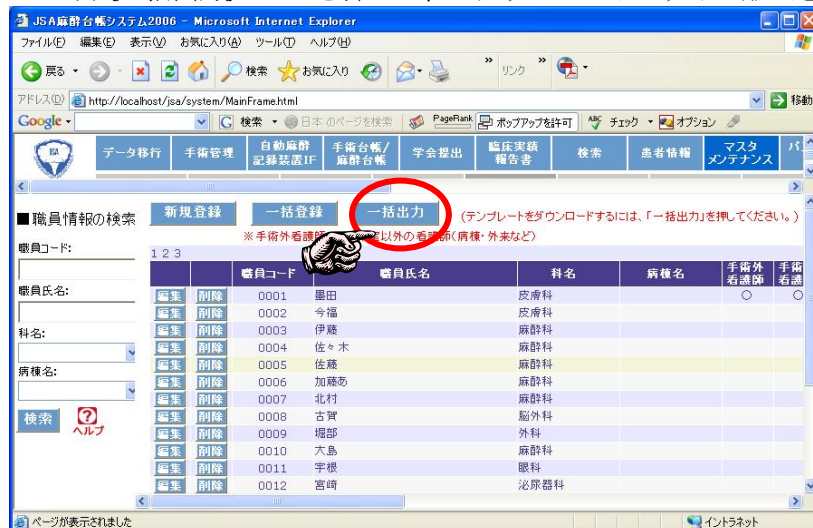
このヘルプファイルに各マスタの一括登録／更新用ファイルのレイアウトが記載されています。



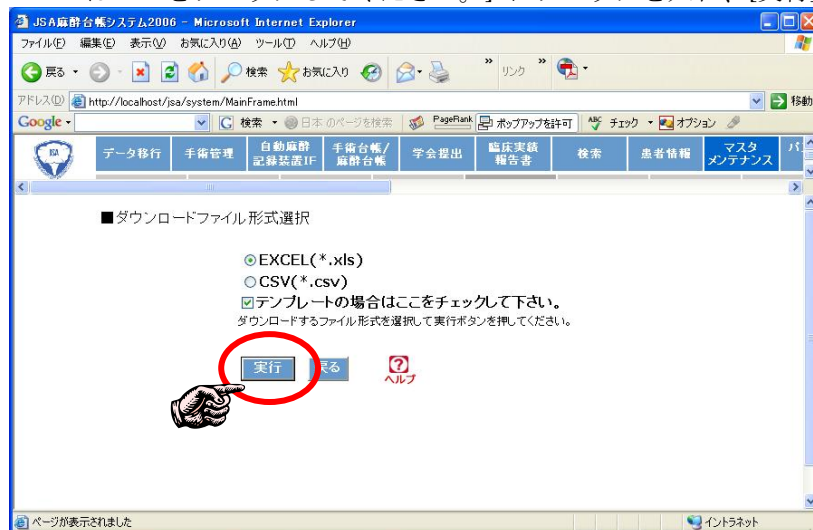
2.2.1(3) [検索]を押して職員マスタの一覧を表示します。



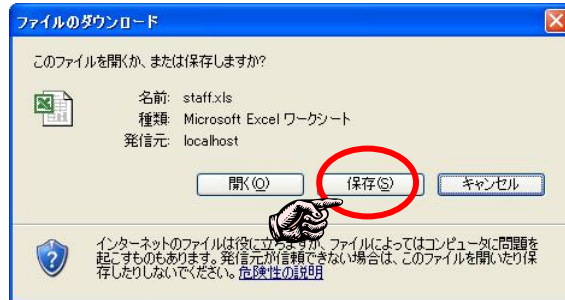
2.2.1(4) [一括出力]ボタンを押して、「ダウンロードファイル形式選択」画面を表示します。



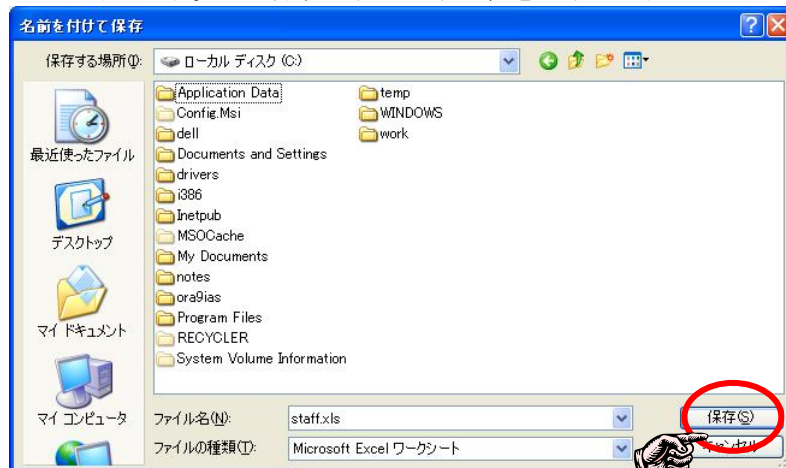
2.2.1(5) ダウンロードしたいファイル形式を[EXCEL]、[CSV]から選択し、[テンプレートの場合はここをチェックしてください。]にチェックを入れ、[実行]を押します。



2.2.1(6) [ファイルのダウンロード]ダイアログが表示されるので、[保存]ボタンを押します。



2.2.1(7) [名前を付けて保存]ダイアログが表示されるので、保存した場所を指定して、[保存]を押します。その際、ファイル名は任意の名前に変更して構いません。

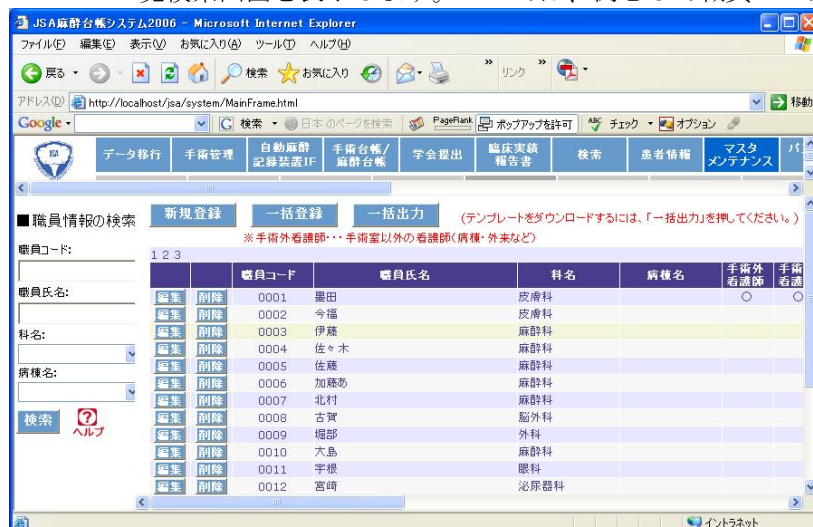


2.2.1(8) 同様の手順で、移行したいその他のマスタのテンプレートファイルをダウンロードします。

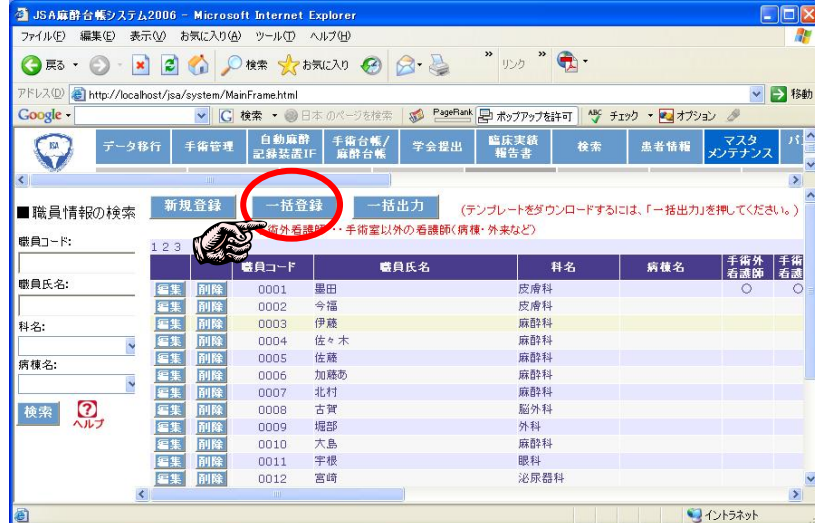
2.2.2 マスターデータの一括登録

ファイルに保存したマスターデータを一括登録します。

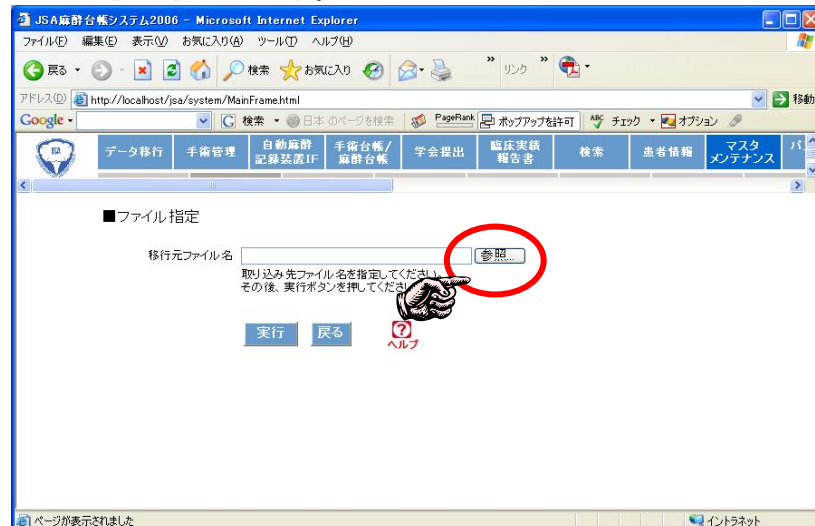
2.2.2(1) 「2.2.1 テンプレートファイルのダウンロード」と同様の手順で一括登録を行うマスタの一覧検索画面を表示します。ここでは、例として職員マスタを一括登録します。



2.2.2(2) [一括登録]を押して、「ダウンロードファイル形式選択」画面を表示します。

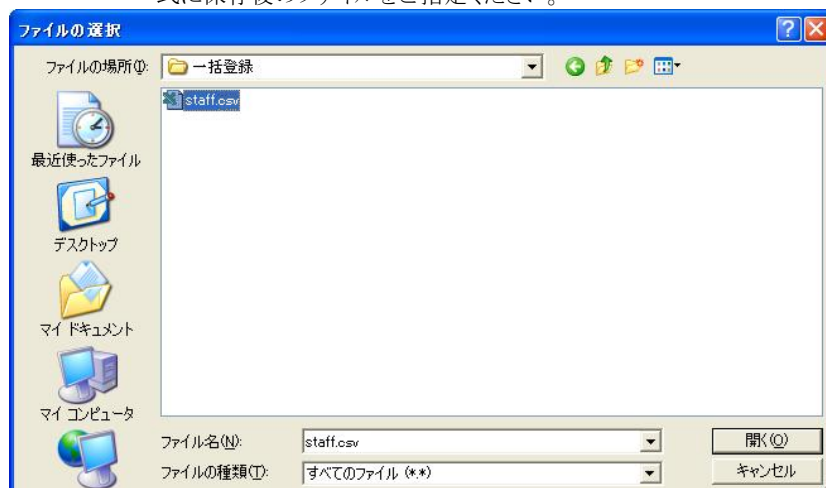


2.2.2(3) [参照]を押します。

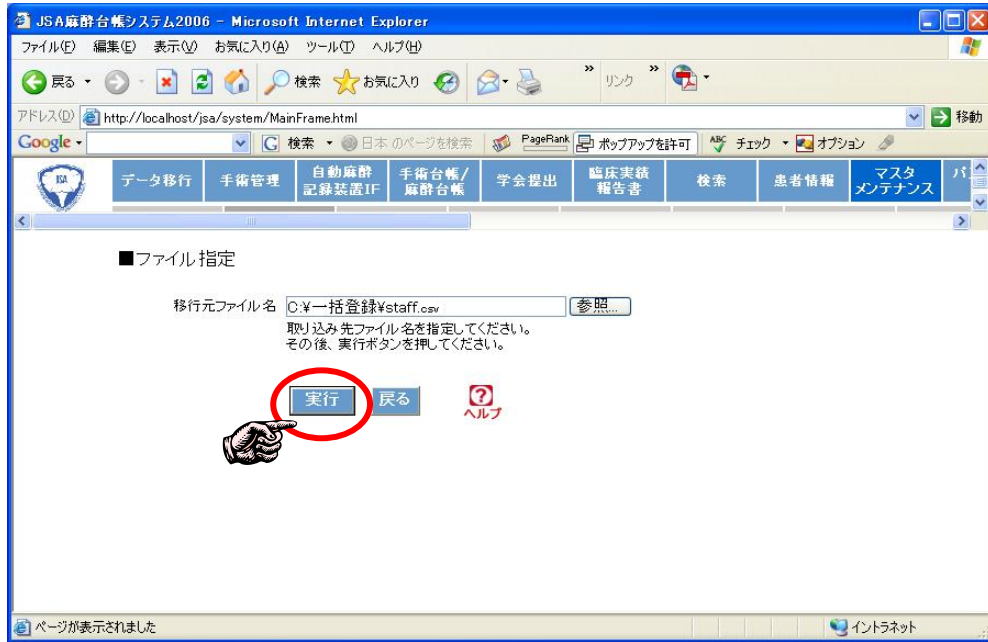


2.2.2(4) 「ファイルの選択」ダイアログが表示されるので一括登録するファイル(*1)を選択して[開く]を押します。

(*1) ここで指定するファイルは、CSV形式の必要があります。Excelで編集した場合は、CSVファイル形式に保存後のファイルをご指定ください。



2.2.2(5) [実行]を押して、一括登録処理を行います。



※一括登録処理が正常に終了すると下図のように、新規登録件数／更新件数が表示されます。



※異なる種類のマスタを一括登録する際には、必ず移行するマスタのメニューから一括登録画面を開いて、一括登録処理を行ってください。例えば、職員マスタの一括登録画面から科、病棟マスタといった異なる種類のマスタデータファイルを一括登録することはできません。

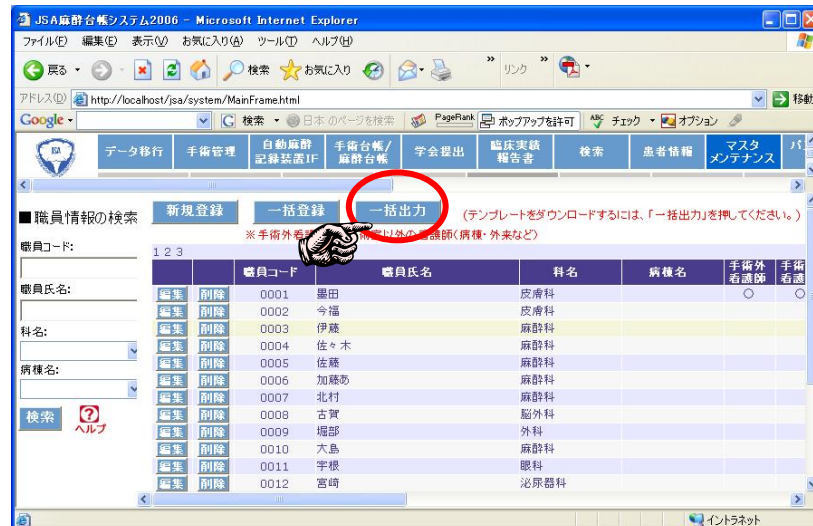
2.2.3 マスターデータの一括出力

本システムに登録されているマスターデータをファイル形式で一括出力します。

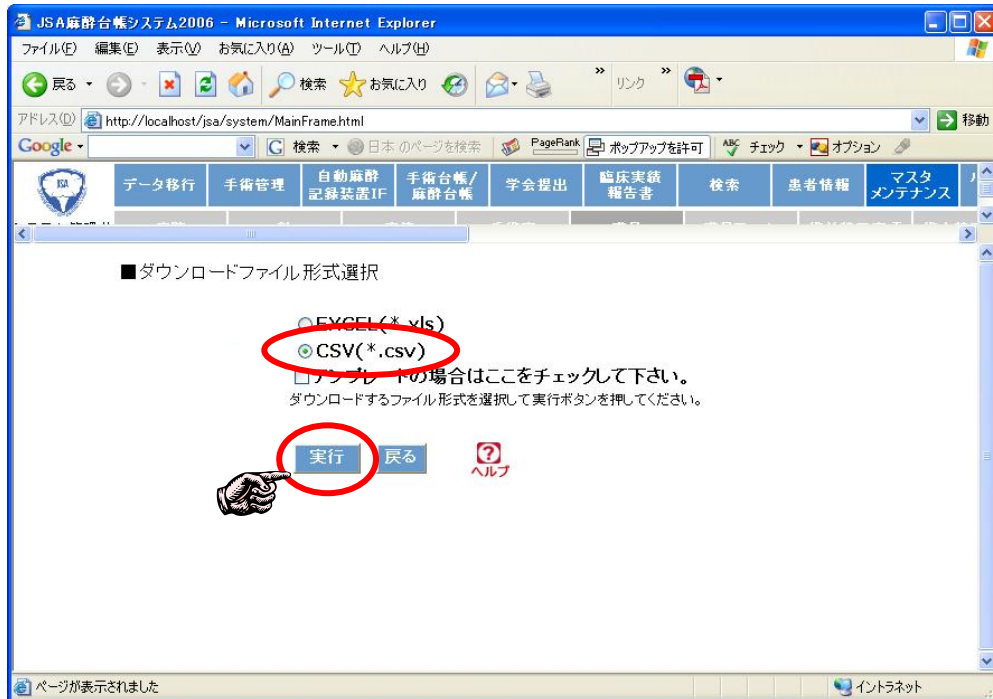
2.2.3(1) 「2.2.1 テンプレートファイルのダウンロード」と同様の手順で一括登録を行うマスタの一覧検索画面を表示します。ここでは、例として職員マスタを一括登録します。



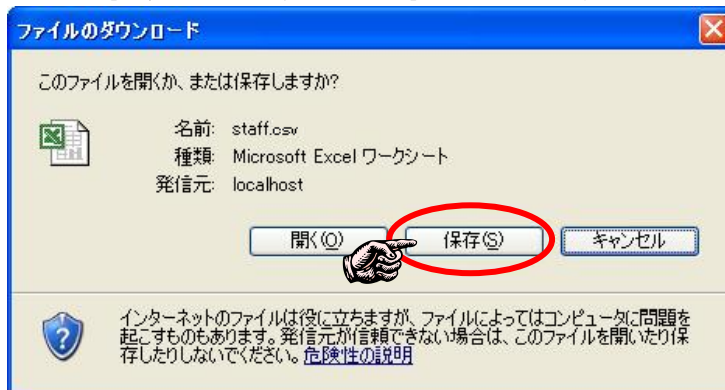
2.2.3(2) [一括出力]を押して、「ダウンロードファイル形式選択」画面を表示します。



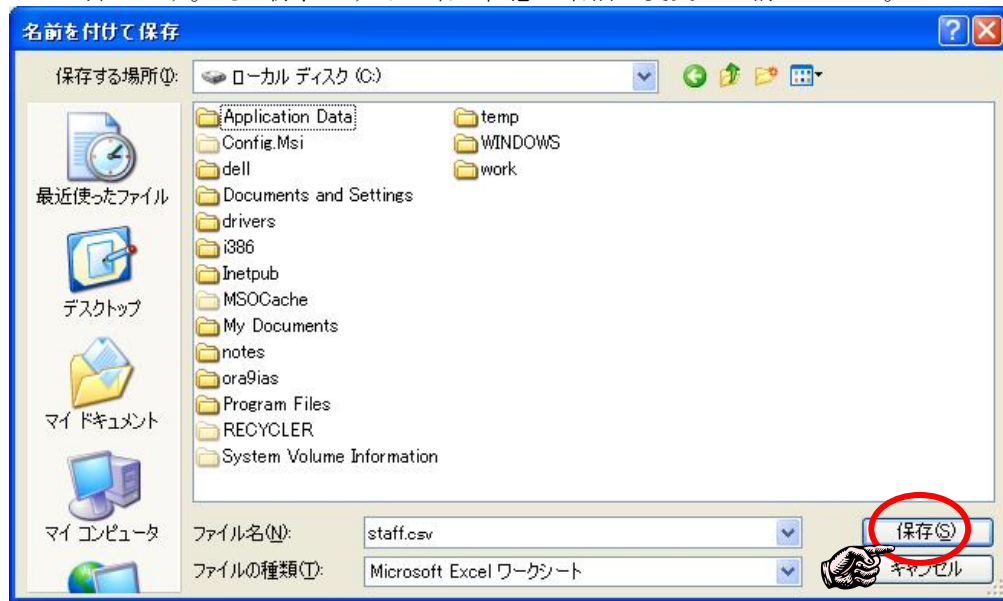
2.2.3(3) ダウンロードしたいファイル形式に[CSV]を選択して[実行]を押します。その際、[テンプレート]の場合はここをチェックして下さい。]にチェックを入れないでください。チェックを入れてしまうと、登録データがファイルに出力されません。



2.2.3(4) [ファイルのダウンロード]ダイアログが表示されるので、[保存]ボタンを押します。



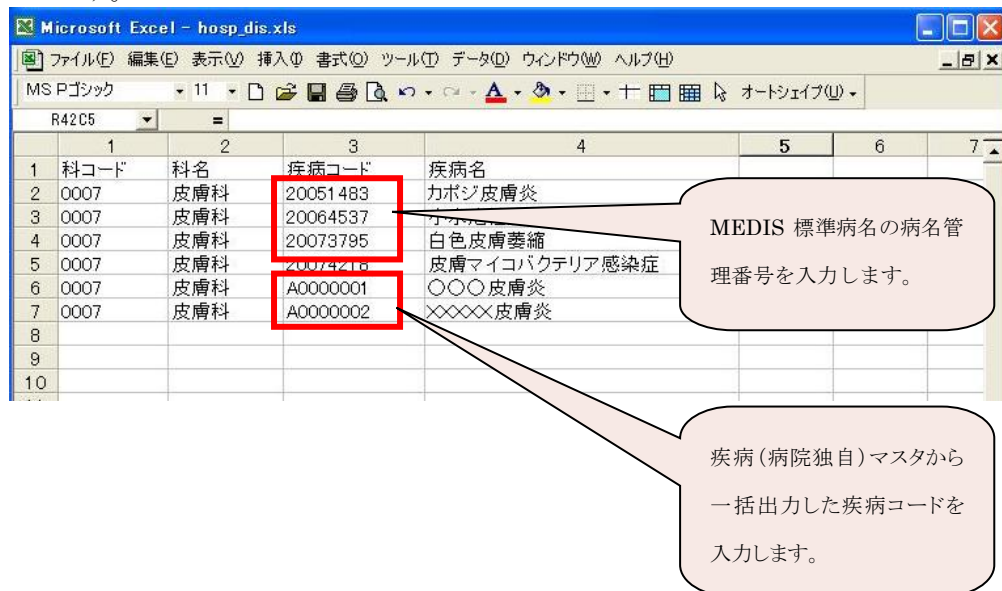
2.2.3(5) [名前を付けて保存]ダイアログが表示されるので、保存した場所を指定して、[保存]を押します。その際、ファイル名は任意の名前に変更して構いません。



2.2.3(6) 同様の手順で、移行したいその他のマスタのテンプレートファイルをダウンロードします。

2.2.4 科で使用する疾病／術式の注意事項

2.2.4(1) 科で使用する疾病を一括登録する際、「疾病コード」欄にはMEDIS 標準病名の「病名管理番号」もしくは、疾病(病院独自)マスタから一括出力した「疾病コード」を入力します。



2.2.4(2) 科で使用する術式を一括登録する際、「術式コード」欄には MEDIS 標準手術処置の「手術処置管理番号」もしくは、術式(病院独自)マスタから一括出力した「術式コード」を入力します。

Microsoft Excel - hosp_ope.xls

	1	2	3	4
	科コード	科名	術式コード	術式名
1	0007	皮膚科	14737	遊離移植[皮膚]
2	0007	皮膚科	31002	皮膚皮下粘膜下血管腫摘出(露出部)
3	0007	皮膚科	31003	皮膚皮下粘膜下血管腫摘出(露出部)
4	0007	皮膚科	31005	有茎皮膚弁作成術(植皮)(25cm2未満)
5	0007	皮膚科	32651	〇〇術式
6	0007	皮膚科	A0001	××術式
7	0007	皮膚科	A0002	
8				
9				
10				
11				
12				

MEDIS 標準手術処置の手術処置管理番号を入力します。

術式(病院独自)マスタから一括出力した術式コードを入力します。

3 CSV ファイル形式から症例データを移行するには(汎用的データ移行)

ここでは、CSV ファイル形式から症例データの移行を行う方法(汎用的データ移行)を説明します。

本機能では、CSV ファイル形式から症例データを手術台帳/麻酔台帳に移行することができます。

3.1 汎用的データ移行の制限

ここでは、汎用的データ移行の制限事項について説明します。

3.1.1(1) 汎用的データ移行で利用できるファイルは、CSV ファイル形式のみです。それ以外のファイル形式を使用することはできません。

3.1.1(2) 汎用的データ移行機能は、新規登録のみに対応しています。例えば、全く同じ症例データを保存した CSV ファイルを連続して処理した場合、同じ症例データが手術台帳/麻酔台帳に登録されます。但し、汎用的データ移行は、履歴機能があります。この履歴機能から登録データの確認、一括削除を行うことが可能です。

3.1.1(3) 汎用的データ移行を行うためには、[マッピング]を設定する必要があります。この[マッピング]とは、入力された CSV ファイル内の各項目と手術台帳/麻酔台帳の画面項目を関連付けするマスタ情報です。本システムの[汎用的データ移行]-[マッピング]で登録/更新することができます。※運用途中で CSV ファイルが変更された場合は、必ず[マッピング]を変更してください。変更しない場合は、誤った関連付けで症例データが登録される場合があります。

3.2 移行手順

3.2.1 マッピングの登録とデータ移行

入力する CSV ファイルの項目と手術台帳/麻酔台帳の画面項目の関連付けを行う為、マッピング情報を登録します。

3.2.1(1) 本システムにシステム管理者権限でログインして、[汎用的データ移行]を押します。



3.2.1(2) サブメニューにある[マッピング]を押します。すると CSV ファイルを指定する画面が表示されるので、[参照]を押して移行する CSV ファイルを指定します。指定したら[次へ]を押します。



■ファイル指定

CSVファイル名

CSVファイル名を指定してください。
その後、次へボタンを押してください。

(ここでは、CSVファイルの項目と手術台帳/麻酔台帳の画面項目とのマッピングのみ行います。)

3.2.1(3) 画面左側に CSV ファイルの項目名の一覧が表示されます。画面右側に手術台帳/麻酔台帳の画面項目一覧が表示されます。最初に、移行したい CSV ファイルの項目を選択します。画面左側の一覧から任意の項目を選択します。



3.2.1(4) 次に上記にて選択した項目を関連付けする手術台帳/麻酔台帳の画面項目を選択します。手術台帳/麻酔台帳の画面項目一覧の任意の項目を選択します。すると右側の一覧に CSV ファイルの項目名が設定されました。これで CSV ファイルの項目と画面の項目が関連づけられました。※関連付けした項目を解除したい場合は、解除したい項目の[解除]を押します。



※1つの CSV ファイルの項目を複数の画面項目に関連付けることができます。

3.2.1(5) 上記の操作を繰り返して、項目の関連付けを行います。関連付けが終了したら[登録]を押します。

※手術台帳/麻酔台帳の画面項目とCSVファイルの項目を関連付けします。

■CSVファイル 入力項目

CSV項目名称	選択
<input type="radio"/> 症例番号	済
<input type="radio"/> 手術日	済
<input type="radio"/> 患者ID	済
<input type="radio"/> 患者氏名	済
<input type="radio"/> ふりがな	済
<input type="radio"/> 生年月日	済
<input type="radio"/> 性別	済
<input type="radio"/> 血液型	済
<input type="radio"/> RH	済
<input type="radio"/> 身長	済
<input type="radio"/> 体重	済
<input type="radio"/> 科名	済
<input type="radio"/> 科コード	済
<input type="radio"/> 感染症	済
<input type="radio"/> 病種	済
<input type="radio"/> 病種コード	済
<input type="radio"/> 主治医_科名	済
<input type="radio"/> 主治医_科コード	済
<input type="radio"/> 主治医氏名	済

■手術台帳/麻酔台帳 画面項目

画面項目	CSV項目名称
【学会提出】	
学会提出フラグ	
【症例番号】	
症例番号	症例番号
【患者情報】	
患者ID(*)	患者ID
患者氏名(*)	患者氏名
患者氏名ふりがな	ふりがな
生年月日	生年月日
年齢-歳	
年齢-月	
年齢-日	
性別	性別
血液型-ABO	
血液型-RH	
血液型-細区分	
身長	身長
体重	体重
科名-1	

3.2.1(6) マッピングの登録が完了したら、CSV ファイルの症例データを移行します。[汎用的データ移行]-[データ登録]を押します。ここで[参照]を押して対象となる CSV ファイルを選択します。その後、[次へ]を押します。※備考欄にコメントを入力することができます。このコメントは、[汎用的データ移行]-[履歴参照]の履歴一覧に表示されます。

■ファイル指定

CSVファイル名 参照

備考

CSVファイル名を指定してください。
また、必要があればコメントを入力してください。ここで入力したコメントは、移行履歴に登録されます。
その後、次へボタンを押してください。
(ここでは、CSVファイルのデータを手術台帳/麻酔台帳に登録することができます。)

次へ

3.2.1(7) CSV ファイルの取り込み内容の一覧が表示されます。この内容で間違いない場合は、[実行]を押します。※この時点では、まだ症例データは登録されていません。

■CSVファイル取り込み内容

症例番号	患者氏名	手術室	実績 手術開始時刻	実績 手術終了時刻	手術科目	術式名	疾病名
0001 test_0001	未指定		2006/11/12 09:30		内科	胸壁腫瘍手術(肺管切開を伴う)＜小腸＞	ACバイパス後強硬結合併症
0002 test_0002	未指定		2006/11/12 10:45		外科	スタントグラフト内挿術(腹部大動脈)	疾病名1
0003 test_0003	未指定		2006/11/12 11:40				C型肝炎肝炎
0004 test_0004	未指定		2006/11/12 12:09		整形外科	四肢ギブスシャーレ(上肢、下肢)(片)	HB型肝炎
0005 test_0005	未指定		2006/11/12 09:19		眼科		

実行

3.2.1(8) 登録処理が正常に終了すると下図のようなメッセージが表示されます。



3.2.2 汎用的データ移行の履歴確認

汎用的データ移行機能で登録した履歴内容を確認することができます。

3.2.2(1) [汎用的データ移行]-[履歴参照]を押します。すると、下図のように検索条件が表示されます。この検索条件に汎用的データ移行を実施した日付の範囲を指定して[表示]を押します。



3.2.2(2) 下図のように汎用的データ移行を実施した履歴が一覧表示されます。この時、該当レコードの[選択]を押すと移行した症例データの一覧表示及び詳細の内容を確認することができます。また、[削除]を選択すると、移行した症例データが一括して削除されます。※但し、この[削除]を実施した場合、システム上から完全に削除されますのでご注意ください。



以上